

目標達成計画

事業所：グループホーム ぶどうの木

作成日：平成26年 11月 22日

市町村受理日：平成26年 11月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新体制へ移行してからも理念の再検証は行っておらず、様々な状況が変更された今、改めて再検討する必要がある。	現状を総合的に踏まえた新たな理念の構築が出来る。	全スタッフによる協議、現状の再検証を行い、共通認識、統一した方針として取り組める内容の理念を構築していく。	2ヶ月
2	35	火災訓練は行えているものの、水害や停電、断水対策などは不十分である。	各災害に合わせた対策方法を確立、整備、訓練が行え、有事の際に対応が出来る。	備蓄品の確保も含めて対策法を検討、作成すると共に、町内会との連携を図り、協同して構築していく。	6ヶ月
3	6	身体拘束に関する知識をより深める必要がある。また、研鑽した内容を共通認識として保有し、ケア、実践出来る必要がある。	身体拘束に関する知識を全スタッフが共通認識として身に付け、適切にケアを実践出来る。	内部研修等、定期的に学習する機会を設け、認識の再確認と共に、互いの注意喚起を実施する。	通年
4	26	現在の介護記録書式では、利用者に関わる情報収集や分析、及び課題設定のプロセスを明確にする事が難しい部分がある。	記録を根拠とした課題設定ができ、より質の高い介護計画、モニタリングが出来る。	必要な情報が何か再検証、情報収集し、新たなフォーマットを検討、作成する。	半年～1年
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。